

受講番号		氏名	
------	--	----	--

2025 年度

登録造園基幹技能者講習

A 大阪会場

[注 意]

1. 答は別の解答用紙に記入してください。
2. 答を訂正する場合は、消しゴムでていねいに消して訂正してください。
3. この問題用紙の余白は、計算等に使用して差し支えありません。
4. 退席の際、解答用紙とともにこの問題用紙も回収しますので、持ち帰らないでください。

一般社団法人 日本造園建設業協会
一般社団法人 日本造園組合連合会

〔問題 1〕 登録基幹技能者の役割として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 現場の状況に応じた施工方法の提案、調整
- (B) 元請技術者の契約業務に関する指導・変更契約の締結
- (C) 生産グループ内の技能者に対する施工に係る指示、指導
- (D) 前工程・後工程に配慮した他の職長との連絡、調整

〔問題 2〕 登録造園基幹技能者が担う役割に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 設計図書の脱漏や誤りの早期発見に努め、問題があれば施工管理技術者に報告し、指示を求める。
- (B) 未熟練工に対して技能指導を行う。
- (C) 熟練工に対して施工現場における経理処理の指導を行う。
- (D) 工程管理、安全管理及び他工事との調整などについて、施工管理技術者の補佐を行う。

〔問題 3〕 登録造園基幹技能者に必要な資質として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 優柔不断に行動すること
- (B) 健康であること
- (C) 約束を守ること
- (D) 統率力があること

〔問題 4〕 造園工事の特性に関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 特性や形状が均一の素材をすべて使用して空間を構成する。
- (B) 造園工事で使用する自然素材は、設計図面や仕様書だけで表現しやすい。
- (C) 現場での判断が全体の出来栄えに大きく影響することは少ない。
- (D) 関連する周辺領域に関する幅広い知識が求められる。

〔問題 5〕 設計の手順（プロセス）に関する一般的な流れとして、**適当なもの**はどれか。

- (A) 現地調査→設計図の作成→数量計算→積算→施工計画の策定
- (B) 現地調査→設計図の作成→数量計算→積算→設計図書の取りまとめ
- (C) 現地調査→設計図の作成→数量計算→施工図の作成→積算
- (D) 現地調査→設計図の作成→数量計算→積算→工程計画の策定

〔問題 6〕 木を扱う技能の特性に関する記述のとして、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 樹木の姿を見極め将来の成長した姿も把握しながら植栽する。
- (B) 樹木の姿よりも寸法を重視して植栽する。
- (C) 1 本植えの場合は、樹木の表を観賞位置の正面に向けて植栽する。
- (D) 平面的にも立体的にも不等辺三角形を構成するよう植栽する。

〔問題 7〕 実務に役立つ話し方に関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 声にメリハリはつけずに淡々と話をする。
- (B) 話を中心にし、文書資料や写真などの使用は控える。
- (C) 相手の質問を受けるのみとし、話し手からは質問はしない。
- (D) 大切なポイントは、繰り返しや念を押して要点を強調する。

〔問題 8〕 近隣に迷惑がかからないように配慮すべき対応の記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 工期短縮のためには、早朝、休日に関わらず作業を実施する。
- (B) 騒音や振動が人に与える影響や防止方法を理解し、騒音規制法・振動規制法を遵守する。
- (C) 近隣住民への事前説明会や現場周辺の清掃を実施する。
- (D) 建設機械の丁寧な操作、機械移動の最小化、連続作業自粛、防音シートなどの減音対策を施す。

〔問題 9〕 OJT のメリット・デメリットに関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 計画的、継続的に実践教育ができるが、フォローアップが容易でない。
- (B) 指導者の資質、意欲、能力により、効果は左右されることはない。
- (C) 部下への育成に効果は上がるが、管理職の指導力の強化にはつながらない。
- (D) 仕事に密着した実践的・具体的指導を日常的にでき、研修効率が良い。

〔問題 10〕 成果の上がる指導力に関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 期待に応えた部下の成果に対しては褒めることが大切である。
- (B) 教育・訓練を行えば、誰でも同じような能力が身に付くはずと考えて取り組む。
- (C) やる気を起こさせるには、部下とはっきりした上下関係を持つことが大切である。
- (D) 部下の部分的な欠点に着目し、何度も注意点を指摘しつつ技能効果を高める。

〔問題 11〕 建設業法に関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 元請負人が予定価格 450 万円の下請契約を締結する際、下請負人に 3 日後を期限として見積もりを提出させた。
- (B) 施工体制台帳の作成が必要な工事において、施工体制台帳に一次下請の業者名、各業者の技術者氏名等を記載し、二次下請は、当該業者から技術者名簿の提出がなかったため記載しなかった。
- (C) 造園工事の元請負人が、下請契約を変更して、100 万円の工事を追加する際に、少額なので書面による契約を行わなかった。
- (D) 公共性のある重要な施設の工事において配置しなければならない主任技術者は、例外なく、当該工事現場に専任のものでなければならない。

〔問題 12〕 技能講習が必要な業務として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 作業床の高さ 11m の高所作業車の運転（道路上を走行させる運転を除く）の業務
- (B) 吊り上げ荷重 1t 未満の移動式クレーンでの玉掛けの業務
- (C) 吊り上げ荷重 5t の移動式クレーンの運転（道路上を走行させる運転を除く）の業務
- (D) チェーンソーを用いての立木の伐採の業務

〔問題 13〕 現場における毎日の安全施工サイクルで取り組む安全活動として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 作業開始前点検
- (B) 作業手順書の提出
- (C) 安全工程打合せ
- (D) 終業時の安全確認

〔問題 14〕 農薬安全使用のための留意点として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 周辺にも散布できるように風の強い日に行う。
- (B) 農薬のラベルに記載された内容以外に使用しない。
- (C) 散布作業時に農薬を浴びないよう肌の露出部分を少なくする。
- (D) 農薬の使用状況を帳簿に記載し記録しておく。

〔問題 15〕 高所作業を伴う高木剪定等の共通事項として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 作業環境は、常に同条件であることを前提として一般的な作業計画と作業手順書を作成し、全作業員に伝える。
- (B) 足場の設置を原則とし、設置が困難な場合は、高所作業車の使用を優先的に検討する。
- (C) 高所作業車の使用も困難な場合は、作業環境と作業内容に応じ最適な墜落防止措置を行う。
- (D) ロープ高所作業に従事する場合は、安衛則に規定された特別教育修了が必須である。

〔問題 16〕 工程・原価・品質の相互関係の一般的な事象に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 突貫作業になると原価は高くなる。
- (B) 突貫作業になると品質は悪くなる。
- (C) 品質を良くすると工程は遅くなる。
- (D) 品質を良くすると原価は安くなる。

〔問題 17〕 受注者が負う設計図書照査の範囲として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 現地測量の結果、横断図の新たな作成
- (B) 現地測量の結果、排水路計画の新たな作成
- (C) 数量計算書と設計書の内容の整合確認
- (D) 設計のための地質調査

〔問題 18〕 造園工事で使用する資材の管理に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 一般資材には、骨材、コンクリート、二次製品、鋼材、木材などがある。
- (B) 一般資材の発注において、通常流通している資材、製品を使用する場合は、カタログなどで確認可能である。
- (C) 特注資材には、品種指定された植物材料、施工に必要な仮設材などがある。
- (D) 特注資材の発注において、工場製作を伴う大型遊具等は、必要に応じて製作途中で工場立合検査を行う。

〔問題 19〕 資材の搬入計画立案にあたって検討すべき事項として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 搬入資材の使用時期
- (B) 搬入資材の大きさや重量
- (C) 搬入資材の支払条件
- (D) 搬入経路の状況

[問題 20] 工程管理に関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 横線式工程表は、それぞれの工種がどのように工期に影響するかを把握しやすい。
- (B) 横線式工程表は、ネットワーク工程表の一部である。
- (C) ネットワーク工程表は、各作業の関わりが分かりやすく、最遅工程期間日数が予め把握できる。
- (D) 曲線式工程表は、横線式工程表を作成した後に必ず作成する。

[問題 21] 植栽工事の工程表作成の留意点に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 工期と植栽適期が一致していない場合には、十分な保護・養生及び施工方法に配慮する。
- (B) 植栽施工は、一般に他の工事完了後行われることが多いため、十分な工程調整をする。
- (C) 一般的に、高木→中木→低木→地被という植え付け順序に配慮した工程とする。
- (D) 植栽施工は、一度工程表に組み込んだからには天候に関わらず施工する。

[問題 22] 植栽基盤の構造に関する次の記述の(ア)(イ)の語句の組み合わせとして、**適当なもの**はどれか。

(ア)とは、物理的・化学的に根の伸長を妨げる条件が小さく、根群が容易に(イ)できる土層のことをいう。

- | | (ア) | (イ) |
|-----|------|-----|
| (A) | 有効土層 | 伸長 |
| (B) | 有効土層 | 萎縮 |
| (C) | 排水層 | 伸長 |
| (D) | 排水層 | 萎縮 |

[問題 23] 公共用緑化樹木等品質寸法規格基準(案)に関する記述として、**適当でないもの**はものはどれか。

- (A) 「樹高」とは、根鉢の上端から最も高い位置にある幹又は枝の頂端までの垂直高をいう。
- (B) 「枝張」とは、樹木等の四方面に伸長した枝(葉)の幅をいう。
- (C) 「幹周」とは、樹木の幹の周長をいい、根鉢の上端から 1.2m 上りの位置を測定する。
- (D) 「単幹」とは、幹が根元近くから分岐せず 1 本であるものをいう。

[問題 24] 造園工事における予定価格積算に関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 現場事務所の設置や撤去に要する費用は、直接工事費に含まれる。
- (B) 運搬費、準備費、安全費などの共通仮設費は、間接工事費に含まれる。
- (C) コンクリート構造物を現場打ちでつくる際、型枠に要する費用は間接工事費に含まれる。
- (D) 本店等の企業活動に要する費用に充当される一般管理費等は、直接工事費に含まれる。

[問題 25] コストダウンの着眼点に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 不良率を少なくするなど、常に生産性の向上を心掛ける。
- (B) 目に見えるムダはもとより、目に見えないムダに気をつける。
- (C) 在庫は、常にできるだけ多く確保しておく。
- (D) 目先のケチに徹するのではなく、合理的な節約に徹する。